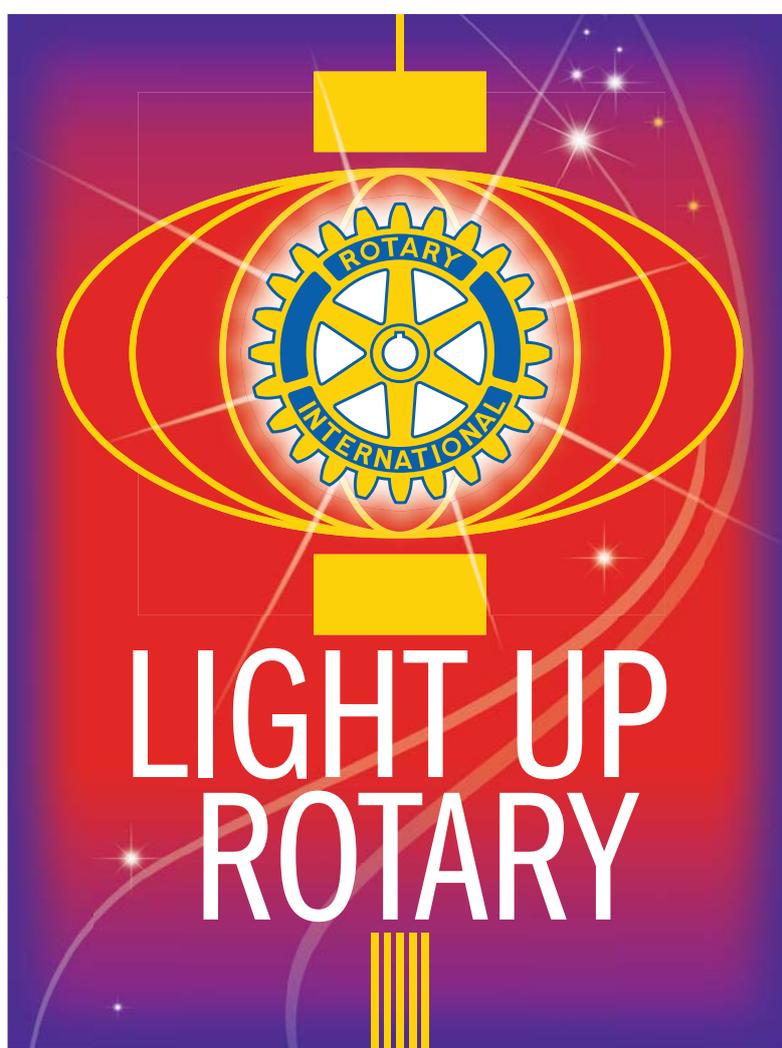


ガバナー月信



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT2730 MIYAZAKI&KAGOSHIMA HP <http://www.ri2730.org/>



2014-2015年度 国際ロータリーのテーマ
ロータリーに輝きを

国際ロータリー第2730地区
ガバナー **田中俊實**

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

付記：「ロータリーの目的」の4つの項目は、等しく重要な意味を持ち、また同時に行動を起こさなければならぬものであるということで、RI理事会の意見が一致している。

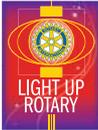
四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

目 次

ガバナー挨拶	1	新会員のための地区研修セミナー	7
IM 開催報告 【宮崎全県区】	2	ポリオプラス	8
コーディネーターニュース	3	トピックス 主な行事実施予定一覧	9
ライラ報告 【宮崎県西部・南部分区】		公益社団法人ロータリー米山記念奨学会	10
ライラ報告 【鹿児島市内分区】	4	文庫通信 入退会報告	11
東日本大震災復興支援 被災地訪問報告	5	4月出席率報告	12
ロータリーデー（国分中央RC）	6	Rotary My Life	13



ガバナー挨拶



2014-2015年度 国際ロータリー第2730地区

ガバナー 田中 俊 實

ライトアップロータリー ハッピークラブゴー ありがとうロータリー

地区研修・協議会も終了し、各クラブの皆さんは次年度へ向けて準備に大忙しのことと思います。今年度を振り返り、PETSや地区研修・協議会で聞いたことを参考に、しっかりと次年度計画を立てて、スムーズに、元気にスタートできますように全員ご協力をよろしくお願い致します。

さて、私は5月5日、大阪中之島公会堂にて開催された、RI第2660地区ロータリーフェスティバルへ出席してきました。当日は晴天に恵まれ、パレードに始まり、奉仕イベント、ロータリーカレッジ、献血、ポリオ撲滅キャンペーンと盛りだくさんのプログラムがあり、多数のロータリアン、一般市民が集い、大盛況でした。まず、11:00～12:30のロータリー塾A「泉博郎ガバナーと語ろう」へ参加しました。この1年を振り返って、ロータリアンは親睦を基礎に奉仕を一生懸命にして、ロータリーを楽しんでいる。奉仕活動をすれば相手から感謝されると同時に自分もうれしくなり、もっと人の役に立ちたいと思って他人のことを考える心ができ、その心が奉仕の理念となり、自分の職業・人生の基礎となりロータリアンになっていくのだと言われました。感動しました。

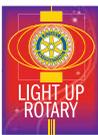
次に、IM第8組ガバナー補佐の川上善司会員は、分区8RCの親睦と連携を図るために8輪会を立ち上げた。クラブの現状認識と改善をするために、忘年会時、クラブ会長に自クラブの欠点と解決策を話してもらい、会員に大変うけて盛り上がったこと、それをきっかけに分区とクラブの活性化が図られたと発表されました。

次に磯田郁子地区研修委員は、大学生の時にロータリアンの御父上からのすすめでライラに参加し、感動して、RAに入会し、海外研修や地区代表になり、すばらしい出会いがあり、30歳になったとき、育英会の日本語学校の教師で上司に相談してロータリークラブへ入会し、例会日2時間の有給休暇を使い、休日出勤で埋め合わせをしながらロータリー活動を頑張ってきた。RA地区委員長、米山地区委員、青少年交換委員を歴任し、人と人とのつながりの素晴らしさ、ロータリー、

ロータリアンのすばらしさを感じることができたと発表されました。小島常男大阪船場RC会長はパワーポイントを使い、大阪船場RCの一年の活動を写真入りで詳しく説明され、ロータリーライフを楽しんでやってこられたことがよくわかりました。ギターが特技で、ロータリー親睦活動には大変役立っている、また写真(カワセミと紫陽花)もロータリーの友の表紙に載ったとのこと。多趣味でうらやましく思いました。写真は我々も「友」に応募できると思いました。

引き続き、フリーディスカッションでは、最近の問題点として“ロータリーの決まりごとができていない”、“若い人にロータリーのよさをわかってもらえない”、“つよく言うのにげてしまうのではないか”という意見が出ました。答えは出ませんでした。一人ひとりのロータリアンがまず自分で実行して、寛容の精神で待つことが大切だと思いました。短い昼食後、13:00～15:00 フォーラムB「ロータリーの明日を考える」に出席しました。まず、林華明RI3520地区台北市東門RC2015-16ガバナーエレクトは、会員募集の新方向ということで台湾の現状を発表されました。現在7地区が12地区になり、また3520地区は92クラブから137クラブへ、3581人が6224人となり、増強・拡大に成功している地区です。女性会員、40歳以下の会社のマネージャークラブの大量入会があり、クラブも多様化しているとのこと。東林RCの例では、海にもぐって、また山に登って例会をする。世界大会へは半数以上が参加する。工夫して安い方法で行くとのこと。社会奉仕では、英語を教えたり、教会を建て直したりしたそうです。色々問題点も発表されましたが、前向きな行動力はびっくりしました。

陣思明RI3520地区GG1420330台湾肝臓病撲滅キャンペーンアドバイザー 台北市南雅RCは、グローバルグラントを使って50万ドルのプロジェクトとして許可をとり、実行できた話を発表されました。台湾では、肝臓病は国民病とも呼ばれ、たいへん深刻な病気であることを初めて知りました。今回のGGプロジェクトが成功することを心より期待したいと思



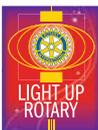
ガバナー挨拶

いますとともに、関係者の皆様に心より敬意を表します。立野純三RI2660地区ガバナーエレクトは、変えてはならないこととして、ロータリアンはロータリーの目的を忘れずに仕事に取り組み、生活し、奉仕の理念こそロータリアンを結ぶ大切なものであると強調されました。今後我々がとりくむこととしては、クラブ戦略計画を作り上げ、クラブ会員全員が理解して行動することが大切であると発表されました。井上瑛夫RI2660地区パストガバナーで地区研修委員会リーダーは、日本のロータリアンは、世界の変化がわからなかったのが、それについていけないのが現状であるが、ロータリーの本質を勉強し、奉仕を通じてロータリーのすばらしさを体験し、ロータリーには信頼できる友人、心を許しあえる友人、人生の師がたくさんおられることに自信と誇りを持つことができます。そ

の上で、ホテルで高会費のクラブ、公民館で低会費のクラブ等多様性を、寛容の精神で認め合うことが大切だと発表されました。

15:00-17:00危険ドラッグサミットがあり、パネリストの一人である高山勝成堺フラワーRC会員は、現役プロボクサーIBF世界チャンピオンであり、その発表は立派でロータリアンらしい態度で一ロータリアンとして誇らしい思いがしました。

最後にRI第2660地区大阪のロータリアンはよく勉強され、多様性を持ったロータリアンもたくさん在籍され、すばらしい地区であると思いました。我が地区にも負けずにすばらしいロータリアンがおられることにも誇りをもちました。ありがとうございました。



IM 開催報告 【宮崎全県区】

3月14日に、宮崎市で開催されました宮崎県IM(都市連合会)に、多数のご参加を頂き、有難うございました。(本会議 410名、懇親会 300名)又、ご来賓として、公私共にご多忙の中、田中俊實ガバナー、河野宮崎県知事、戸敷宮崎市長にご臨席賜り、誠に有難うございました。

IMは現在の2730地区になって以来、各分区の全てを見直そうとの考えで、組織、制度の改革、情報の共有、全会員の共通の認識の下に地区の活性化を図る為、全県で行うことになりました。



今回のIMは、北部分区と宮崎中部分区合同での主催となり宮崎中部分区の9クラブが担当で、宮崎中央RCがホストクラブでした。中部分区押川ガバナー補佐のご指導を頂きながら、北部分区、西部分区、南部分区の各ガバナー補佐には、動員から本会の各部門の重責を担って頂きまして、本当に有難うございました。尚、今回は、従来のIMを大幅に変更して三部構成となりました。

まずは(本会議)、そして(大懇親会)です。翌日はゴルフ大会も企画されました。全て、押川ガバナー補佐の立案です。

当日の本会議でのご挨拶を2012~13

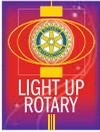


年度に国際RI会長をされた田中作次様にお願い致しました。日本で3人目のRI会長です。テーマは「ロータリーを語ろう」でした。又、Q&Aでは、もう一人の中村靖治パストガバナーで、現在もRLI日本支部事務局長をされています。お二人がコーディネーターとして各分区の代表へ20名もの質問に懇切丁寧にご説明して頂きました。

お二人の今回のIMのご出席に際しましては、秦パストガバナー、大迫直前ガバナーのご尽力があり、実現しました事を付け加えさせて頂きます。本当に有難うございました。

最後に、宮崎県IMにご出席頂きました田中作次パストRI会長、そして中村靖治パストガバナー、2730地区田中俊實ガバナー、ご協力を頂きました4分区のガバナー補佐の皆様、そして、Q&Aに質問者として発表いただいた各分区代表の皆様とご参加頂いたロータリー会員の皆様に心より御礼申し上げます。今回のIMが今後のロータリー活動の活性化に必ず役に立つことを心より御祈念申し上げます。御礼とロータリーの友情に感謝申し上げます。

報告者：実行委員長 平松 寛(宮崎中央RC)



会員の退会防止とゾーンの戦略計画

RI第3ゾーン ロータリーコーディネーター
安満良明 (加治木RC)

今年度も後わずかとなりました。今一番大事なものは、会員の退会防止です。例年年度末の6月にたくさんの退会者がおられます。クラブをあげて退会防止に取り組んでください。

さて、去る4月18日に次年度のための第3ゾーンリーダー会議を福岡で開催し、2015年7月11日(土)に福岡にて第3ゾーンロータリー戦略計画推進セミナーを開催することが話し合われました。次年度からは、ロータリーコーディネーターとロータリー公共イメージコーディネーター、ロータリー財団地域コーディネーターの共催で開催されます。今回初めて三つのコーディネーターが共催することになり、ロータリー戦略計画の三つのテーマ「クラブのサポートと強化」、「人道的奉仕の重点化と増加」、

「公共イメージと認知度の向上」が揃って学び話し合える機会となりました。クラブがクラブのための戦略計画を立案し推進していき、それを基にガバナーと地区の戦略委員会が地区の戦略計画を立案推進していただくことが大切だと思います。永年の会員減少の中に、やっと歯止めがかかり会員増加の兆しが見えてきた中、クラブがしっかりと、クラブの未来像を見据えて戦略計画をたて推進していくことが、各々のロータリークラブの基盤を確たるものにするのだと思います。

クラブで取り組む公共イメージ向上 次年度に向けた目標

RI第3ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター
岩永信昭 (長崎北東RC)

公共イメージ向上はここ数年益々強調されている戦略計画優先項目の一つです。ラビンドランRI会長エレクトは以下に対する取り組みをクラブに強く奨励されています。

1) 地元メディアによる報道の推進

メディア報道を担当する会員を指名しクラブの活動等取材してもらうよう働きかける。

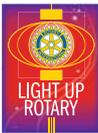
2) 「ボイスとビジュアルアイデンティティのガイド」の導入促進

RIウェブサイト内ブランドリソースセンターからダウンロードできるこのガイド(写真)を利用しクラブのウェブサイトや出版物に導入しロータリークラブ・セントラルへ報告する。

3) デジタル媒体やソーシャルメディアの活用推進

これらは次年度RI会長賞の受賞条件にも含まれており、各クラブで積極的に取り組まれて下さい。地区広報委員会そしてコーディネーターが皆様方のサポートを喜んでさせていただきます。ご理解の程何卒宜しくお願い申し上げます。





ライラ報告



【宮崎県西部・南部分区】

5月16日（土曜日）9時から受付開始、心配していた雨も小降りになり、予定どおり欠席者もなく9時30分から開講式を始める。



坂本会長の点鐘から国歌斉唱そして湯浅実行委員長の開講宣言の後田中俊寛ガバナー挨拶、来賓の副市長の挨拶そして当クラブの坂本会長の参加

お礼の挨拶で開講式がおわる。会場を移動し本日講演を頂く、テナントミックスサポートマネージャ木藤亮太氏による「商店街の活性化に向けた取り組み」について約2時間の講演に入る、現在日南市の公募で採用され4か年計画で、油津商店街の再生に取り組み今年で3年目を迎え少しずつ成果がでてきている。途中会場を出て商店街に、移動して現地での説明もあった。

講演後昼食を全員でとり、メニューは日南の食材をメインに料理してほとんど完食であった。13時よりいよいよ研修会にはいる、今回は遠くは、えびの小林地区を含め約30名のライラ生が参加してくれました、当会員の田中会員の進行で「自分たちの住みたい街作り」と題して5グループに分かれ、まずグループでの自己紹介からテーマは
*自分たちの住んでる街にどうしたら興味を持つことができるのか
*その中で自分達に、何ができるのか
*どんな街だったら自分達が、ずっと住みたいか
以上のテーマについて各自意見を出し合い、白紙の上に書き込み最後にまとめ各テーブルのリーダーが発表した、講師



の木藤氏もサブ的にサポートして頂き各テーブル活発な意見がだされていた。

16時から閉講式を行う、代表者1名に修了書を渡し受講生代表挨拶があり、普段このような形で自分たちの街を見たこと考えたことがなく、今後興味がでてこれを機会に見直したいとの挨拶がありました。最後に東西部分区ガバナー補佐の講評と挨拶で終了しました。

その後懇親会を開きましたが、多くのライラ生、ロータリアンが残っていただき親交を深めあって解散しました。本日はロータリーデーも同時に開催してインターアクト生10名、プロバス3名の応援を頂きポリオ募金活動を近くのスーパーにて行いました。

報告者：実行委員長 湯浅 健平（日南中央RC）



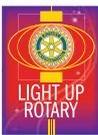
【鹿児島市内分区】

平成27年4月11日、12日、国際ロータリー第2730地区主催（鹿児島東南ロータリークラブホスト）のライラが開催されました。ライラの開催にあたり、田中ガバナー、小園ガバナー補佐、上田ガバナー補佐、古木地区奉仕プロジェクト部門長、山田地区青少年奉仕委員長、前田ライラ委員長、鹿児島市内分区のロータリアンの皆様、日本赤十字社鹿児島県赤十字血液センターの職員の皆様、研修生の皆様には、多大なご協力をいただきありがとうございました。

本年度のライラは、「若い世代へボランティアの輪を鹿児島から世界へ。」をテーマに、大要、講演会と研修会という構成で開催しました。

講演会では、タイのチェンライロータリークラブで直前会長をされた原田氏をお招きし、同氏がタイで実践しているボランティアをご講演いただきました。タイ北部のアカ族の子どもたちが自分の力で生きていくためには識字率を向上させなければならないこと、識字率を向上させるために教育に力を注いできたこと、ボランティアは





ライラ報告



ボランティアを受ける側の立場に立って行わなければならないことなど自身の体験に基づく具体的なお話しには大変感動いたしました。また、原

田氏に続いてご講演いただいた長峯パストガバナーには、論語を題材に人として大切な物事の考え方や所作をご教示いただきました。

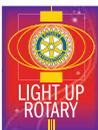
講演会の後に行われた研修会では、研修生を所属団体の枠を取り払って班分けし、各班のリーダーを決め、班ごとに異なるテーマに沿って議論し、その内容をまとめ、最後

に全員の前で提言をしてもらいました。

研修生の中には、ボランティア経験者だけでなく未経験者もいましたが、経験者にとっては、自己のボランティア経験を他者に紹介する一方で他者が経験してきたボランティアを知ることによって所属団体の枠を超えてボランティアの相互理解を深め、未経験者にとっては将来のボランティア参加への契機となったのではないかと思います。

ライラに参加された研修生が、今後も研修生同士の絆を深め、多くの経験を成長の糧とし、鹿児島・宮崎、日本さらには世界のリーダーへと成長していくことを期待いたします。

報告者：中馬 敏之（鹿児島東南RC）



東日本大震災復興支援 被災地訪問報告

今年度は田中ガバナーもご参加頂いての被災地訪問となりました。鹿児島から6名、宮崎より9名、計15名でそれぞれの空港を朝早く飛び立ち羽田にて合流致しました。

◇5月11日（1日目）

東京から新幹線やまびこで福島県郡山市に到着。郡山西北RCの取り計らいで長峯パストガバナー年度地区大会の東北震災シンポジウムにおいて大震災の現況を心熱くお話し下さった故 伊藤 浩パストガバナーの偲ぶ会に出席。代表6名はご自宅にてご焼香もさせて頂きました。とりわけなでしこ2730委員会にも深く心を寄せて頂いたパストガバナーでもありました。滞在時間2時間弱でまた新幹線やまびこで岩手県陸前高田市へ向かいホテルキャピタル1000に到着。

大津波で一網打尽に一瞬にして消え去った陸前高田市。何もない更地の高台にあるホテルキャピタル1000。眼下に見える風景はかさ上げされた土俵と遠くに海。高台の家にわずかにぼつぼつと家が残るだけ。心苦しさが募りました。19時より陸前高田RCと山口 淑子ガバナー（第2520地区）にもおいて頂いての例会並びに懇親会となりました。山口ガバナーには2月1日鹿児島市で開催したロータリーデーに第2520地区女性ガバナーとしても講演を頂いたガバナーでもあります。各自自己紹介の中で震災後、自身の生活もままならない状況の中でロータリーの灯を消すまいと必死の思いでロータリーの立て直しに奔走された話が深く心に残りました。

何不自由ない南九州の私たちにはいかにぬるま湯に浸かっているかを痛感させられました。

◇5月12日（2日目）

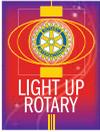
AM8:30。宮崎市出身のシンガーソングライター きりんさんの高田高校仮設住宅において復興支援コンサートのお手伝



いをさせて頂きました。2月1日ロータリーデーにおいても復興支援コンサートを開いてくださり大反響をよびました。ロータリーデーを大成功に導いてくださった立役者のお一人でもいらっしゃる方です。震災直後から一人で機材を持ち、岩手県を中心に仮設住宅等において復興支援を続けていらっしゃる方でもあります。しかし仮設住宅の皆様にお声かけしてもコンサートに参加頂いた方々は2~3割程度でしたが、参加頂いた仮設住宅の皆様は手作りのケーキ、コサージュ、お茶、コーヒーで大歓迎して下さり屈託のない笑顔で一生懸命私たちをおもてなしして下さいました。頭の下がる思いです。

お昼12:00。大船渡お魚市場にて昼食。

14:00から大船渡中学校 金 賢治 校長先生の講演を拝聴させて頂きました。大震災の教訓として「今伝えていかねばいけないうこと」と題して貴重なお話を頂きました。「生きる!生き抜く!自分の命は自分で守る」。金校長先生ご自身も家を流され全て失ってからのスタートだったとお聞きしました。講演中外から聞こえてくる生徒たちの覇気ある校舎を揺らすかと思うほどの声。体育祭前の練習風景でした。一糸乱れず真摯な姿に一同涙があふれてなりませんでした。金校長先



東日本大震災復興支援 被災地訪問報告

生は震災前と震災後の生徒たちは変わりましたか、と私共の問いで「震災後の生徒たちはパーフェクトです」と答えてくださいました。

15:00大船渡中学校を後に山口ガバナーのご紹介で釜石市へ向かいました。途中、釜石の小中学校も通ってきましたが、報道でも何度も取り上げられました。校内にいた生徒たち一人も犠牲者を出すことなく避難できたところでもあります。避難途中、先生方が生徒たちに言い放った言葉「後ろを見るな」。大人たちも子供たちの後を追って随分助かった人が多いと聞きました。

次にここもまた報道で話題になりました宝来館にも立ち寄り名物女将さんのお話も聞かせて頂きました。おかみさんご自身も津波にのまれながら九死に一生を得た方でもあります。小柄な身体にももの凄いバイタリティを持って熱弁を振るわれ釜石の復興に寄せる思いは人一倍でした。釜石はワールドカップラグビー場の誘致に成功され、今、東北においても湧きに湧いている所でこの誘致においても尽力されたお一人でもありました。震災を風化させることなく語り継ぐことで釜石の復興に大きな使命感と責任を感じていらっしゃる姿は小柄ながら人としては私たちよりはるかに大きな心の持ち主の方でもありました。

17:00。宝来館をあとに宿泊ホテルへ。それから釜石RC・釜石東RC・山口ガバナーも交えての懇親会に臨みました。皆様の取り計らいで釜石での滞在も有意義なものになりました。

◇5月13日(3日目)

遠野市防災センターを視察。3月11日震災直後から指揮を執られた総務課長から説明を受けました。仮設の資料館には電気系統が全て消滅した中で事細かに時間ごと日付ごとに手書きの報告事項・連絡事項が一ヶ月分程貼り出されてありました。刻々と変わる状況が手に取るようにわかる紙面でした。遠野市防災センターは岩手県においては重要拠点とされる防災センターでもあります。手書きの事項と一緒に被災日から



救助活動に必死に取り組まれている職員・自衛隊員・消防団員・一般の皆様方の写真も貼り出されていました。昨日お伺いした大船渡中学校の生徒たちの感動の姿を思い浮かべ何事も大人たちが真剣に向き合えば言葉は少なくとも子供たちも真剣に向かい合いふれずに成長していってくれることを感じさせられました。

遠野市防災センターをあとに岩手が生んだ文豪 宮沢賢治記念館へ。今年2月に完成した真新しい記念館は素晴らしい設備で宮沢賢治を十分堪能致しました。隣接している「注文の多いレストラン山猫亭」の昼食も大変おいしかったですよ。

この被災地訪問行程3日間、郡山西北RCを除く交流会の場で、田中ガバナーはハッピークラブ(幸せの拍手)を推進され、これからは東北のロータリーもハッピークラブが広がっていくことと思います。また郡山西北RC・陸前高田RC・釜石RCの各クラブには地区大会で会員の皆様から頂きました貴重な義援金を「有効にお使い下さい」と手渡しして参りました。帰路は新花巻駅より新幹線やまびこで羽田へ。羽田から鹿児島・宮崎へと無事帰路に着きました。このように私共なでしこ2730委員会は年度を重ねるごとに捻りある充実した活動内容になってまいりました。更に私たちの仲間を増やし、更なる活動を目指していきたいと思います。

今後ともなでしこ2730委員会のご理解とご協力のほど宜しくお願い致します。

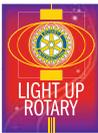
報告者:なでしこ2730委員長 高木 ツヤ子

ロータリーデー (国分中央RC)

4月28日、霧島市役所で定例の献血活動に加えて、ロータリーデーとしてポリオ撲滅のための募金活動を、国分ロータリークラブの協力を得て行いました。

あいにくの雨でしたが、多くの方にポリオの状況と募金活動を知っていただくとともに、実際に募金をしていただきました。





新会員のための地区研修セミナー

テーマ：ロータリーの見方、見せ方 —公共イメージ戦略

講師：RPIC(2009～2014年度)ロータリーの友編集長 二神典子 会員(東京築地RC)

日時：2015年5月10日(日) 10:30受付 セミナー11:00～15:00

会場：都城メインホテル中村

出席役員：田中俊實G、野中玄雄GE、大重勝弘GN、押川弘巳GND、安満良明第3ゾーンRC、山下皓三研修リーダー、村上潤地区幹事、山村健司広報・IT委員長、安達龍大副委員長、川原篤雄クラブ管理部門長、深尾兼好クラブ研修委員長、川平建次郎副委員長、重田千尋委員

出席者：各クラブ新会員・広報担当者

報告者：クラブ研修委員長 深尾兼好

ロータリーの友編集長で、4年に亘りRPIC(ロータリー公共イメージコーディネーター)を務められた二神典子講師(東京築地ロータリークラブ)を招聘して実施された、本年度クラブ研修委員会最後の研修セミナーは、5月9日、開催日の前日から、田中G、安満ゾーンコーディネーター、山下研修リーダー始め地区の研修チームが総出で歓迎会を行い、地元料理と焼酎で大いに盛り上がった。



画」に謳われた3つの優先事項の一つ(公共イメージと認知度の向上)にまで及んだ。

昼食を挟んで午後からはグループディスカッション。「ロータリーの魅力と問題点」というテーマで5つの分科会に分かれ、



それぞれをG、GE、GN、GND、研修リーダー(PDG)がDL(ディスカッションリーダー)を務めるという地区始めて以来の設定で、新会員にとっては、身近に地区のトップリーダーと対話できる意義ある場となった。1時間の分科会の後、各グループの代表者が発表。藤崎会員(SW)、松窪会員(えびの)、石坂会員(えびの)、早川会員(鹿屋西)、吉田会員(SW)らが登壇し意見をまとめた。メリットとして「年齢、職業を超えた友人ができる」問題点として「新会員へのフォローが乏しくクラブに溶け込むのに時間がかかる」という声が多数を占めた様である。この発表を受けて、自由に各グループを回って頂いた安満ゾーンコーディネーターと二神典子講師が講評。締めはやはり、田中Gのハッピークラブで大盛況のうちに閉会した。ご多用の中、わが地区の講演要請に快く応じて頂いた二神典子講師に衷心よりの謝意を表したい。

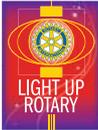


そして、当日11:00の開会には100名を超える会員が会場を埋め、川平副委員長の進行で深尾委員長が地区研修経過を報告、恒例となった田中Gのハッピークラブ、野中GEの挨拶、山下研修リーダー(PDG)の研修の目的説明の後、二神典子講師の講演。さすがロータリージャパンの機関紙「ロータリーの友」を主導するオピニオンリーダーのレクチャーとあって、その一言一句に会場が聞き入った。

講演内容は、「ロータリーの友」の位置づけ、変遷に始まり、編集方針から転じて「四つのテスト」「RIの戦略計

画」に謳われた3つの優先事項の一つ(公共イメージと認知度の向上)にまで及んだ。





【ポリオワクチン開発から 60 周年】

4月12日は、ジョナス・ソーク博士が1955年にポリオワクチンを開発してから60周年という記念すべき日でした。安全で効果的であるとして今日に至るまで利用されているこのワクチンが大きな後押しとなり、この60年の間に世界におけるポリオ発生数は99%減少しています。現在、常在国は3カ国(アフガニスタン、ナイジェリア、パキスタン)を残すのみとなり、ポリオという恐ろしい病が世界からなくなる日まで、本当に「あと少し」のところまで来ています。

【ポリオワーカー ソマリアで襲撃される】

4月20日、ソマリアのガローウェ市内を移動中の

国連車輛が襲撃され、乗り合わせていた4人のユニセフ関係者が命を落としました。その内の2人は、世界ポリオ撲滅推進活動(GPEI)の下に活動していたポリオワーカー、Payenda GulさんとBrendaKyeyuneさんです。Payendaさんは、1999年からアフガニスタン、ナイジェリア、ソマリアにおいてポリオ撲滅のため活動をしていました。Brendaさんは、2014年に活動に参加し、地元のコミュニティがポリオ撲滅活動に確実に関わっていくように努めていたということです。

大変嘆かわしいニュースですが、彼らのこれまでの献身と活動の成果に敬意を表し、共にポリオ撲滅を掲げる仲間として、深く哀悼の意を表します。

【ポリオ症例数】

ポリオ	国	2015年 1月1日～4月22日	2014年 (通年)
常在国	パキスタン	21	306
	アフガニスタン	1	28
	ナイジェリア	0	6
常在国 以外	赤道ギニア	0	5
	イラク	0	2
	カメルーン	0	5
	シリア	0	1
	エチオピア	0	1
	ソマリア	0	5
	世界合計		22



週報アットワーク

「少年よ大志を抱け」 鹿児島西 RC 会長 鮫島 信一

この言葉は札幌農学校で教授として招かれたウィリアム・クラークが日本を去り、アメリカに帰る時に告げた言葉として有名であります。(Boys be ambitious) です。クラーク先生が来日し、日本語を知らないクラーク先生に対し、当時、北海道開発長官であった薩摩武士黒田清隆は英語が出来たので、クラーク先生に、札幌農学校の校則を英訳して持って行きました。ところがこれを見たクラーク先生は「要りません」と言ったそうです。驚く黒田長官に「数が多すぎます」と告げました。「では校則は必要ないのですか」と尋ねたら、クラーク先生は「いや、校則は必要です。それはたった一つあればよろしい」と答えました。その「一つ」とは (Be Gentleman) 「紳士たれ」でした。これには黒田長官も二の口が告げなかったそうです。

20世紀初頭のアメリカでは社会経済の発展の陰で、商業道徳の乱れが目につくようになりました。ポール・ハリスはこの風潮に耐えかねて、3人の友人と語り、「お互い信頼できる公正な取引をして、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にも発展するような仲間を増やしたい」という趣旨でロータリークラブという会合を考えたわけです。

日本では江戸時代まで、土農工商の身分制度があり、商人は身分としては最下位にランクされていましたが、その後、物の価値が金銭で評価されるようになり、商取引中心の時代が変わって、財閥や商人の発言力が強力になってきました。そういう時代の流れの中でロータリークラブは、職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりとして高く評価されています。

国際ロータリーには現在200以上の国と地域に34,558のクラブを擁し、会員総数も1,220,115人(2014年10月1日RI公式発表)に達しております。規模が大きくなれば当然行動規範や規定、定款など細則が必要になって参ります。

しかし、ロータリアンとしては定款など難しいことは考えずに、自分の仕事に励むことで (I am a Rotarian) として行動すればそれで良いと認識しています。クラーク先生の (Be Gentleman) でその意を強くしました。

(鹿児島西 RC 平成27年3月11日 第2490週報より)

**第2回
青少年の自然とのふれあい
「タケノコ掘り体験」
出水RC**

平成27年4月11日(土)に出水市武本の竹林で青少年を対象とした「タケノコ掘り体験」を行いました。

青少年に自然とふれあい、環境の大切さを学んでもらおうということが目的で出水ロータリークラブが企画しました。養護学校の児童クラブや地域のスポーツクラブ等に参加していただきました。

今回で2回目の開催となりますが、子供や大人で総勢120名程の参加でした。参加した子供達は、慣れない鎌の扱いに悪戦苦闘しながらも、タケノコを次々と掘り出し、大変、満足げでした。掘り出したタケノコはその場で湯がき、昼食のおかずやおみやげにしました。普段は静かな竹林もこの



日ばかりは、子供達の元気な声や笑い声でとても賑やかでした。

今回の「タケノコ掘り体験」を通じて、次世代を担う子供達の大切さや自然のすばらしさを再認識する感動的な1日でした。

海の遊び楽しい 高鍋障害児ら体験イベント

障害児や障害者に海を親しむ機会を創出し、高鍋町の高鍋町蚊口浜海水浴場で体験イベントを開催した。近隣の特別支援学校や障害児放課後等デイサービス(このみ園)の同町北利用する広瀬少年の山に親しむのが楽しかったと笑顔をみせた。同園の山崎悦子主任は「こういう機会がないと海で安全に遊ぶことができない。大変ありがたい」と感謝していた。

イベントは地域貢献活動の一環で昨年度から実施。武末会長は「地元との協力もたくさんあるに楽しんでもらえた。今後続けていきたい」と話していた。

同町のNPO法人「泉鳥高鍋ライフェンビンスポーツクラブ」と高鍋ロータリークラブの協力を得て開催。参加者は指導者とサーフボードに乗って楽しみたり、タックルの代わりに腰に下げたタグを取るタグラフビートで砂浜を駆け回ったりと汗流した。

高鍋町蚊口浜海水浴場で体験イベントを開催した。近隣の特別支援学校や障害児放課後等デイサービス(このみ園)の同町北利用する広瀬少年の山に親しむのが楽しかったと笑顔をみせた。同園の山崎悦子主任は「こういう機会がないと海で安全に遊ぶことができない。大変ありがたい」と感謝していた。

イベントは地域貢献活動の一環で昨年度から実施。武末会長は「地元との協力もたくさんあるに楽しんでもらえた。今後続けていきたい」と話していた。

▶H27年3月 宮崎日日新聞掲載

サンゴは 奉仕活動尽力 3人に春駒賞

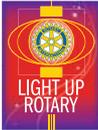
串間ロータリークラブ 永善会長、16人は、奉仕活動や仕事を頑張っている人を表彰する春駒賞を串間市西方の若松雄朗さん(81)に写真

上同市奈留の北原茂子さん(67)同中・日南市星倉の林安子さん(60)同下ノに贈った。若松さんは1998年から串間市ブランドゴルフ協会(株)の役員として競技普及に尽力した。同市奈留の介護老人保健施設「長寿の里」で北原さんは17年、林さんは16年介護福祉士として勤務。愚直の仕事を表彰式は12日、市内の飲食店であり、飛水会長が賞状と記念品を手渡しした。

た若松さんは今後地域活性化や高齢者の健康維持に役立ちたい。北原さんは「あと何年続くかわからないが入所者の笑顔のために頑張りたい」と話した。

▶H27年5月 南日本新聞掲載

国際ロータリー第2730地区 主な行事実施予定一覧					
日	日	行 事	時 間	場 所	摘 要
6月6日	土	串木野RC50周年記念式典・祝賀会	15:00	いちきアクアホール 他	
6月6-9日	土-火	国際ロータリー世界大会		サンパウロ アニエンビ展示場他	
6月13日	土	地区RA委員会		始良市(加治木町さえずりの森)	
6月13-14日	土・日	地区IA研修会及び連絡協議会	13:20	メインホテル	
6月14日	日	指宿RC50周年記念式典・祝賀会		指宿いわさきホテル	
6月20日	土	地区社会奉仕セミナー	13:30	指宿市民会館 2階 会議室	
6月21日	日	地区青少年交換報告会	11:00	ホテルメリージュ(宮崎市)	
6月27-28日	土・日	ガバナー補佐会議		奄美市	
7月1日	水	ガバナー会		東京	
7月5日	日	第1回RA地区連絡協議会		霧島市国分予定	
8月8-9日	土・日	地区インターアクト50周年記念大会		三池少年自然の家	
10月16-18日	金・土・日	2015-16年度地区大会予定		延岡総合文化センター他	



4月の寄付金傾向

4月分合計額 80,245,685 円
累計額 1,256,157,216 円 (前年同期比 6,640 万円増)

参考 前年度4月分合計額：62,694,613 円、累計額：1,189,715,748 円

普通寄付金

4月当月 3,296,000 円
4月末累計 412,659,304 円
(前年度比 2.38%増)
(" 960 万円増)
(予算達成率 103.2%)

普通寄付金下期分は 2,151 クラブ (94%) から納入されました。(昨年度は 93%、2,117 クラブ) 尚、上・下期分ともご送金いただいているいないクラブは 77 クラブあります。既に完納済みの地区は 7 地区となりました。まだご寄付をされていないクラブへは今年度中にご送金いただきますよう、ご連絡をよろしくお願いいたします。

★普通寄付金納入状況・下期分 (納入数/クラブ数)

地区	納入数/クラブ数	納入割合	地区	納入数/クラブ数	納入割合
2500	64/67	96%	2610	63/65	97%
2510	61/70	87%	2620	73/78	94%
2520	61/80	76%	2630	完納	100%
2530	63/66	95%	2750	85/90	94%
2540	33/42	79%	2760	完納	100%
2550	48/51	94%	2780	63/64	98%
2560	53/56	95%	2640	59/70	84%
2570	完納	100%	2650	95/97	98%
2770	72/74	97%	2660	81/82	99%
2790	79/84	94%	2670	70/74	95%
2800	完納	100%	2680	72/73	99%
2820	55/58	95%	2690	完納	100%
2830	37/41	90%	2700	60/61	98%
2840	44/46	96%	2710	73/74	99%
2580	67/70	96%	2720	64/74	86%
2590	完納	100%	2730	53/65	82%
2600	完納	100%	2740	55/57	96%

合計：納入数 2,151RC
地区ロータリークラブ数 2,277RC
普通寄付納入実績 3月31日現在、当会入金分

特別寄付金

4月当月 76,949,985 円
4月末累計 786,657,285 円
(前年度比 7.23%増)
(" 5,680 万円増)
(予算達成率 93.7%)

4月末累計額も大口寄付等により(下記参照)、前月に引き続き好調に推移しています。多くのロータリアンの皆様に厚く御礼申し上げます。今年度も残り2カ月を切りました。今後ともご協力賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

☆ 創立記念寄付 (単位：万円)

地区	クラブ名	金額	地区	クラブ名	金額
2530	会津若松城南	10	2590	川崎南	5
2570	飯能	10	2600	長野北東	15
2770	越谷中	5		松本城	10
	川口北	10	浜名湖	10	
	鳩ヶ谷	10	2620	掛川グリーン	10
	草加中央	5		東京原宿	10
	川口シティ鳩ヶ谷	10	2750	東京新橋	20
	浦和ダイヤモンド	10		東京あけぼの	11
	浦和中	10	2780	伊勢原平成	11
	三郷中央	20	2670	鳴門	30
2790	大網	10	2730	鹿児島サザンウインド	5
2590	川崎中央	10	合計	23 クラブ	257

☆ 地区大会寄付

D2790 10 万円、D2820 30 万円、D2700 10 万円

☆ 高額寄付者(一度に 100 万円以上の寄付)

D2700 福岡城西 RC 安部泰宏氏 100 万円累計 100 万円

☆ 高額寄付法人(一度に 100 万円以上の寄付)

D2590 妙高企業株式会社 100 万円 累計 1,200 万円

【横浜鶴見北 RC 藤林豊明氏】

D2760 坂本ドネイション・ファウンデーション株式会社

3,000 万円 累計 8,110 万円【名古屋名東 RC 坂本精志氏】

文 庫 通 信

【333号】

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50 周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約 2 万 4 千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー情報

- ◎ 「ロータリーの目的と人生哲学」 上野 操 2015 2p (D.2580 武蔵野分区インターシティ・ミーティング報告書)
- ◎ 「日本の職業奉仕観の底流にある思考 ロータリアン二宮尊徳翁」 塚原房樹 2015 1p (D.2510 月信)
- ◎ 「職業奉仕」 D.2660 2015 7p (ロータリーの心と実践改訂版)
- ◎ 「職業奉仕への私の思い、ロータリーは人づくり」 渡辺好政 2010 28p
- ◎ 「『奉仕の理念』が世界を救う～古典的職業奉仕論を超えて～」 本田博己 2014 24p
- ◎ 「職業奉仕は I Serve」 新藤信之 2014 (12p)
- ◎ 「ロータリーの歴史年表 (改訂)」 諏訪昭登 2015 8p
- ◎ 「ロータリーの歴史に学ぶ」 諏訪昭登 2015 6p
- ◎ 「国際ロータリー認証状から見た日本戦前史」 前岡志郎 2015 70p [申込先:ロータリー文庫]
- ◎ 「読みやすい手続要覧」 坂本俊雄 2014 62p [申込先:(有)レオパオラ FAX(042)622-7271]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階 開館:午前10時~午後5時 休館:土・日・祝祭日
TEL.03-3433-6456 FAX.03-3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

●入 会 者 おめでとうございます。

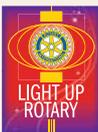
- | | | |
|-------------------|----------------|-----------------|
| ■清水 雅生(日向東RC) | ■下栗 淳也(川内RC) | ■有村 春房(鹿児島RC) |
| ■吉田 博俊(宮崎RC) | ■有村 雄治(川内RC) | ■西元 春義(鹿児島中央RC) |
| ■新井 貴博(宮崎北RC) | ■森山 博信(薩摩川内RC) | ■川路 理幸(鹿児島中央RC) |
| ■酒匂 尚彦(宮崎中央RC) | ■吉永 亜矢(串木野RC) | ■蓑田 達志(鹿児島東RC) |
| ■平嶋 俊和(西都RC) | ■竹ノ内 慎一(大口RC) | ■佐藤 徹哉(鹿児島北RC) |
| ■内藤 鉄矢(佐土原RC) | ■田村 直樹(加世田RC) | ■竹下 夕貴絵(鹿児島北RC) |
| ■小牧 義隆(佐土原RC) | ■飯ヶ谷 久彰(鹿屋RC) | ■得 法公(奄美RC) |
| ■宇治橋 信雄(佐土原RC) | ■四元 隆二(鹿屋西RC) | ■門叶 充弘(奄美RC) |
| ■阿多 美千代(高鍋RC) | ■山下 俊也(鹿屋西RC) | ■且 優蔵(奄美中央RC) |
| ■桑山 久美子(都城RC) | ■大江 美智代(志布志RC) | ■倉井 則裕(奄美中央RC) |
| ■菊村 和昭(都城RC 名誉会員) | ■高橋 格昭(鹿児島RC) | |
| ■大塚 幸治(都城中央RC) | | |

●退 会 者 おつかれさまでした。

- | | | |
|---------------|----------------|----------------------|
| ■古川 英博(宮崎RC) | ■中村 秀幸(都城北RC) | ■山下 浩一(始良RC) |
| ■吉田 卓司(宮崎西RC) | ■池田 誠至朗(都城西RC) | ■鈴木 厚司(鹿児島サザンサウンドRC) |
| ■石川 俊秋(西都RC) | ■山下 直哉(都城西RC) | ■肥後 吉之(奄美RC) |
| ■菊村 和昭(都城RC) | ■脇元 公一郎(国分RC) | ■窪田 貢朗(奄美中央RC) |

RI第2730地区 4月出席率報告

クラブ	出席率			会員数				
	50	82.31	%	14/7/1	4月末	女性	増減	
宮崎県北部	延岡	岡中	岡東	86.14	80	80	8	0
	延岡	岡中	岡東	98.52	52	53	1	1
	日向	日向	日向	90.34	51	46	4	-5
	日向	日向	日向	66.67	15	18	0	3
	日向	日向	日向	94.02	30	31	5	1
	日向	日向	日向	68.18	15	14	2	-1
	日向	日向	日向	80.00	6	7	0	1
(7RC)	平均及び合計			83.41	249	249	20	0
宮崎県中部	宮崎	宮崎	宮崎	91.70	95	96	6	1
	宮崎	宮崎	宮崎	85.93	81	86	7	5
	宮崎	宮崎	宮崎	85.71	73	74	10	1
	宮崎	宮崎	宮崎	69.23	39	40	4	1
	宮崎	宮崎	宮崎	78.92	47	51	7	4
	宮崎	宮崎	宮崎	81.33	22	25	1	3
	宮崎	宮崎	宮崎	96.30	22	21	2	-1
(9RC)	平均及び合計			85.44	446	467	41	21
宮崎県西部	えび	えび	えび	83.33	22	24	5	2
	小島	小島	小島	82.14	34	35	1	1
	小島	小島	小島	97.70	9	11	0	2
	小島	小島	小島	87.10	45	49	7	4
	小島	小島	小島	92.73	43	38	5	-5
	小島	小島	小島	86.83	45	45	4	0
	小島	小島	小島	80.80	36	32	5	-4
(8RC)	平均及び合計			86.17	25	24	7	-1
宮崎県南部	日向	日向	日向	95.24	34	34	2	0
	日向	日向	日向	83.33	12	13	0	1
	日向	日向	日向	85.94	17	16	1	-1
(3RC)	平均及び合計			88.17	63	63	3	0
鹿児島県北部	出水	久根	水根	91.53	41	41	3	0
	阿久根	久根	久根	83.15	46	48	10	2
	薩摩	薩摩	薩摩	88.80	55	56	0	1
	薩摩	薩摩	薩摩	77.03	24	25	3	1
	薩摩	薩摩	薩摩	82.14	8	10	1	2
	薩摩	薩摩	薩摩	95.83	14	12	3	-2
	薩摩	薩摩	薩摩	77.01	21	23	2	2
(7RC)	平均及び合計			85.07	209	215	22	6
鹿児島県西部	伊集院	伊集院	伊集院	82.47	27	27	1	0
	枕崎	枕崎	枕崎	91.50	4	6	0	2
	枕崎	枕崎	枕崎	80.26	16	19	3	3
	枕崎	枕崎	枕崎	71.87	28	24	0	-4
	枕崎	枕崎	枕崎	78.91	29	32	1	3
(5RC)	平均及び合計			81.00	104	108	5	4
鹿児島県中部	霧島	霧島	霧島	60.00	19	19	0	0
	霧島	霧島	霧島	80.91	44	44	8	0
	霧島	霧島	霧島	97.23	32	27	3	-5
	霧島	霧島	霧島	100.00	35	34	2	-1
	霧島	霧島	霧島	73.75	17	16	1	-1
(5RC)	平均及び合計			82.38	147	140	14	-7
鹿児島県東部	鹿串	鹿串	鹿串	87.63	47	50	3	3
	鹿串	鹿串	鹿串	93.48	32	36	2	4
	志布志	志布志	志布志	93.52	57	56	11	-1
	志布志	志布志	志布志	75.82	22	25	4	3
	志布志	志布志	志布志	95.26	39	44	0	5
	志布志	志布志	志布志	76.00	24	25	0	1
	志布志	志布志	志布志	60.19	24	27	0	3
	志布志	志布志	志布志	72.29	36	37	2	1
(8RC)	平均及び合計			81.77	281	300	22	19
鹿児島県市内	鹿児島	鹿児島	鹿児島	70.98	61	63	0	2
	鹿児島	鹿児島	鹿児島	67.67	37	36	3	-1
	鹿児島	鹿児島	鹿児島	81.27	75	72	0	-3
	鹿児島	鹿児島	鹿児島	69.80	29	26	0	-3
	鹿児島	鹿児島	鹿児島	80.49	53	55	4	2
	鹿児島	鹿児島	鹿児島	77.08	12	12	1	0
	鹿児島	鹿児島	鹿児島	76.61	34	34	3	0
	鹿児島	鹿児島	鹿児島	91.84	24	27	2	3
	鹿児島	鹿児島	鹿児島	85.48	32	33	4	1
	鹿児島	鹿児島	鹿児島	83.81	46	50	10	4
(10RC)	平均及び合計			78.50	403	408	27	5
奄美	奄美	奄美	奄美	64.22	56	55	0	-1
	奄美	奄美	奄美	71.56	57	58	6	1
	奄美	奄美	奄美	75.00	25	22	1	-3
(3RC)	平均及び合計			70.26	138	135	7	-3
全体の平均及び合計				82.31	2,299	2,343	195	44



Rotary My Life ～ 我がロータリーの歴史 ～



吉田重弘氏 (90才)

大正14年2月4日生
医療法人吉田会理事長
鹿児島大学鶴陵会会長

会員歴
47年

【ロータリー歴】

1968年12月5日 出水RCチャーターメンバー
1972年～1973年 第5代出水RC会長
1990年～1991年 鹿児島県北部分区代理
2004年～2007年 米山奨学会カウンセラー
その他 マルチプル・ポール・ハリスフェロー
ベネファクター
米山奨学功労賞マルチプル

● 1968年12月5日。創立総会。

水俣RCをスポンサーとして創立しました。難産でした。当時、病院を数年前に開設した私としては、それ所ではありませんでした。しかし、水俣RC会員方の勢力的、度重なる説明で、「宗教と政治は関係ありません」との言葉が頭に残りました。そして、ドクター本田氏の「ロータリーには歌があるのが最高です」との発言に入会が固まりました。

● 1971年度鹿児島県内RCボーリング大会優勝

出水RCは専用のユニホームを着て、張り切り参加しました。私もその一人でした。まさか優勝するとは思っていなかったのに優勝出来て、新生出水RCを全県下に披露しました。

● 1975年～1981年青少年交換派遣学生。

出水RCは、6年間で6名(男3女3)の学生を米国と交換しました。私は最初のホストファミリーを経験しておりますが、出水RC会員及び家族の方々も勉強になったと思います。

● 1978～1979年度。井上ガバナー誕生。

出水RC創立後10年目、井上会員がガバナーに推薦されました。井上氏は51才の若さで決断、出水RCも全面協力として、その年の国際大会ローマには、私と他1名家族も一所に参加しました。

● ポリオと記念バッジ

1987～1988年度池田ガバナー(私の大学の同級生)の時。その年の国際ロータリー会長、チャルス・C・クラーク氏の言葉に「RCとしては、本ロータリー年度を持って、一応ポリオ終止符を打つとして、フィラデルフィアの国際大会を、キャンペーン完遂の祝典の場と決めました」とあります。それから28年経過しております。本年度のポリオ撲滅の終了に向けたポリオのバッジは複雑な気持です。それでも当院看護師の胸に赤いバッジが輝いています。





Alexis Callista Ramer



VI VA PRINT



株式会社 総合印刷

〒893-0061 鹿児島県鹿屋市上谷町 4-6
TEL.0994-43-2093 FAX.0994-44-3737

E-mail.info@kanoyasogo.co.jp

URL.http://www.kanoyasogo.co.jp/